

目次

1.	はじめに	1
2.	最低限必要なアジア太平洋の多数国間危機低減措置の基本構想	9
3.	日本における CSCE/OSCE および「信頼醸成」などをめぐる誤解と欧州の態度	13
	(1) CSCE/OSCE	13
	(2) 「信頼醸成」	15
	(3) 同盟との両立性	15
	(4) 二国間措置との関係	16
	(5) 欧州との相違、および欧州の態度	17
	(6) OSCE 議長（スイス外相）発言・日 EU および米 EU 首脳会議声明	20
4.	日本の態度	23
	(1) 国家安全保障戦略	23
	(2) 小野寺防衛大臣発言	24
5.	アジアにおける「制度」の軽視と国際機関の必要性	28
	(1) 「制度」の軽視	28
	(2) 国際機関の必要性	29
6.	OSCE の措置	31
	(1) 常設理事会と安全保障協力フォーラム	31
	(2) コミュニケーション・ネットワーク	32
	(3) 軍事的信頼醸成措置（CSBM）	32
	①ウィーン文書 2011（付録Ⅲ）	33
	②グローバルな情報交換（付録Ⅵ）	40
	(4) サイバー信頼醸成措置	41
	(5) 他の危機低減措置	42
	(6) 軍備管理・軍縮措置、軍事改革（軍事の民主化）、規範の策定と履行	43
7.	アジア太平洋の安全保障秩序構想	46
8.	アジア太平洋版 NATO の問題	49
9.	おわりに	52

10. 補論「クリミア危機と OSCE の活動」	54
--------------------------------	----

付録

I OSCE加盟国とパートナー国	63
II OSCEの主要機構	64
III Vienna Document 2011	65
IV Decision No.1/13 Vienna Document Plus Changes in the Context of the Accession of Mongolia to the OSCE	128
V Decision No.2/13 Vienna Document Plus Updating the Title of the United Nations Instrument for Standardized International Reporting of Military Expenditures	129
VI Global Exchange of Military Information	132
VII Decision No.1106 Initial Set of OSCE Confidence-Building Measures to Reduce the Risk of Conflict Stemming from the Use of Information and Communication Technologies	137
VIII 領海の外側に位置する水域及びその上空における 事故の予防に関する日本国政府とロシア連邦政府との間の協定	141
IX 領海の外側に位置する水域及びその上空における事故の 予防に関する日本国政府とロシア連邦政府との間の協定を補足する議定書	153
X アジア欧州会合とそのほかのアジア太平洋のフォーラム	158

英文要旨	160
------------	-----